

はじめに

人は、古来から森林の恵みにより物質的にも精神的にも文化的にも豊かな生活を享受してきました。そして、この人と森林との関わりは健全な姿で未来世代に引き継がなければならないものと考えています。

しかし、森林・林業を巡る情勢は、建築様式や木材流通の多様化、生産コストの増大や木材価格の低迷等から森林の管理水準が低下するなど、水源かん養、県土や自然環境の保全、地球温暖化の防止などの森林の持つ多面的機能の発揮を困難としており、人と森林との共生関係の崩壊も懸念されています。

一方、木材は、再生産可能で環境負荷が少なく、人間や自然に優しい素材であることから、二酸化炭素による地球温暖化防止対策の面から、あるいは、新しいエネルギー資源の面からも循環型社会の構築にはなくてはならない資源のひとつであり、その積極的な利用を図ることが期待されています。

県としては、「森林との共生」(森に遊び、学び、働き、守り、暮らす)の理念に基づく循環型社会の形成に向けて、森林の持つ多面的機能が将来にわたり十分に発揮できるよう森林を守り育てるとともに、それを担う林業・木材産業の持続的な発展を図ることが喫緊の課題であると考えています。

このため、21世紀半ばにおける本県の森林・林業・木材産業の望ましい姿を示すとともに、その具現化に向けて、おおむね10力年の基本目標と施策の方向を明らかにした「うつくしま森林・林業・木材産業振興プラン21」を策定しました。

今後は、この振興プランの基本目標である「21世紀の豊かな森林、活力ある林業・木材産業づくり」を目指し、各種施策を重点的かつ総合的に推進してまいりますので、森林所有者をはじめ林業関係団体、市町村及び県民の皆様の一層の御理解と御協力をお願いいたします。

終わりに、この振興プランの策定に当たりまして、熱心に御審議いただきました県森林審議会の委員の皆様をはじめ、貴重な御意見等をいただきました多くの方々に、心から御礼を申し上げます。

平成15年1月



福島県知事 佐藤 栄久

目 次

第1章 振興プラン策定の趣旨

- 1 振興プラン策定の趣旨 1
- 2 振興プランの性格 2
- 3 振興プランの期間 2
- 4 振興プランの構成 2

第2章 森林・林業・木材産業をめぐる情勢

- 第1節 国内外の動向 3
- 第2節 森林・林業・木材産業の現状と課題
 - 1 森林の現状と課題 9
 - 2 林業・木材産業の現状と課題 13
- 第3節 森林・林業の持つ役割 17

第3章 森林・林業・木材産業の基本目標と施策の方向

- 第1節 長期展望 21
- 第2節 基本目標と施策の方向 25
- 第3節 施策体系と主要指標
 - 1 施策体系 26
 - 2 主要指標 27

第4章 森林・林業・木材産業の施策の展開

- 第1節 多面的機能の発揮に向けた森林整備 28
 - 1 機能区分に応じた森林整備 29
- 第2節 森林の働きによる安全で豊かな県土の形成 33
 - 1 森林の働きによる県土保全 33
 - 2 森林の保全 36
- 第3節 県産木材等の安定供給と需要拡大 38
 - 1 県産木材等の安定供給体制の整備 39
 - 2 県産木材等の需要拡大 41
 - 3 特用林産物の振興 44

第4節 森林・林業を支える担い手の育成・確保と技術開発	46
1 林業担い手の育成・確保	46
2 林業事業体の育成強化	50
3 技術の開発と普及	52
第5節 県民参加の森林づくりの推進	54
1 県民参加による森林づくり運動の推進	55
2 緑化の推進	58

第5章 振興プラン推進のために

1 期待される役割	60
2 国有林との連携強化	61
3 県民の理解と支援	62
4 振興プランの推進体制	62

第6章 流域別の基本方向

阿武隈川流域	63
奥久慈流域	67
会津流域	71
磐城流域	75

付属資料

諮問文・答申文	79
福島県森林審議会委員名簿	80
うつくしま森林・林業・木材産業振興プラン21の策定経緯	81